

第3回FM戦略プラン検討委員会に向けた対応一覧表 - 修正②
(「市議会意見・事務局提案対応」編)

市議会意見	事務局提案	資料2-2該当頁	対象部分	意見概要	対応方針(案)
	○	1 29	第1章 1 計画の目的 第3章 1 基本的姿勢	— (事務局提案による修正)	前回の検討委員会においても、「まちづくりの視点を重視」という点について、具体的にこの計画にどのように記載されているのかが分からないとの意見をいただいていたことから、まちづくりの視点を公共施設の観点から整理し、第1章の目的を修正した。 また、第3章のポイント1についても、第1章で整理した文章を用いて修正した。
	○	7	第2章 1 横須賀市の公共施設を取り巻く現状と課題	— (事務局提案による修正)	「横須賀市の公共施設を取り巻く現状と課題」について、本市の現状について記載していることから、第1章から第2章に移行した。
○		10	更新費用推計の図について	更新費用推計図に「大規模改修」とあるが、定義が分からない。その他の文言として「長寿命化改修」というものがあるが、その違いが分かるように記載すべき。	大規模改修に関する定義を追記した。
	○	29	第3章 1 基本的姿勢	— (事務局提案による修正)	ポイント2「施設が持つ機能に着目する」について、集約や複合化による利便性について、追記した。
○		31	第3章2 基本方針1	文章中「学校や行政センター等の地域の核となっている施設」とあるが、行政センターは地域の核となっている施設とは言えないのではないかな。	ここでは、行政センター内に併設されていることが多いコミュニティセンターについて示したかったところであるため、「行政センター」の記載を「コミュニティセンター」に修正した。
○		31 59	第3章2 基本方針2 第6章 (1)施設更新時の整備面積の縮減	施設更新時における施設面積の縮減について各々記載があるが、整合性が図れていないように見えるので、修正すべきではないかな。	31ページの文章を参考に、61ページの文書を修正した。
	○	35	第4章 1 施設の将来像に対する考え方	— (事務局提案による修正)	まちづくりの視点について、第1章で整理した文章を用いて修正した。

	市議会 意見	事務局 提案	資料 2-2 該当頁	対象部分	意見概要	対応方針(案)
8		○	36	第4章	— (事務局提案による修正)	施設カテゴリと公共施設の機能を示した関係図に、施設のあり方との関係についても追記した。
9		○	37	第4章 2 カテゴリ別に見た将来像	— (事務局提案による修正)	カテゴリ別に見た将来像に記載のあった、共通事項が無い「-(傍線)」に関する記載を削除した。
10	○		51	第5章1 機能における手法を示した表	手法別の留意点として、「施設数が減るため、予約が取りにくくなる」とあるが、人口が減少すればそのような事象にならないのではないかと。	集約・複合化により人口減少という視点以外に更に縮減を図る場合には、そのような事業が起こる可能性があると考え。ただし、この表現では分かりづらいので、表記の方法を下線部のとおり修正した。
11		○	58	第5章 ⑤公民連携 (PPP/PFI) の活用	— (事務局提案による追記)	「3 PFI手法、包括委託、指定管理者制度等の活用」にPark-PFIに関する記述を追記した。
12		○	59	第6章 1 施設整備費の縮減手法	— (事務局提案による修正)	冒頭から「維持・更新費用の縮減手法を整理し、今後の縮減目標を定めます。」となっており、さらに、建て替え時に一律で面積を縮減する手法から記述が始まっており、まちづくりの視点が主眼に見えないことから、1(1)の①と②を入れ替えた。
13	○		59 73	第6章1 (1) ①機能の集約・複合化に伴う更新費用の削減 第7章2 (2) ②スクールコミュニティの推進	集約・複合化における取組みの例として、イメージ図が掲載されているが、実際に他都市で実施した具体例を検討委員会の委員に示すべきではないかと。また、小学校内にコミュニティ機能を集約するにあたっては、必ずセキュリティの問題が発生することから、上記同様、実際に他都市で実施した具体例を検討委員会の委員に示すべきではないかと。	実際に実施している他都市から情報収集・現地調査を行った上で、各検討委員にお示しする。
14	○		61	第6章1 (1) ②施設建替え時における更新費用の削減	文章中「1人あたりのサービス量(施設面積)を確保しながら、施設面積縮減を図ります。」とあるが、ここでは更新費用の削減について記載しているところなので、施設面積の縮減に関する文言は必要ないのでは。	ご指摘の通り、ここでは更新費用の削減について記載する部分なので、施設面積の縮減に関する文言を削除すると共に、標題に「更新費用の削減」を追記した。
15	○		62	第6章1 (2) ①耐用年数を意識した施設整備	リースのメリットとして、市が施設を所有しないこと、また、終わりがはっきりとしていることについて明記すべき。	リースのメリットについて追記した。

	市議会 意見	事務局 提案	資料 2-2 該当頁	対象部分	意見概要	対応方針(案)
16	○		62	第6章1 (2) ①耐用年数 を意識した 施設整備	文章中「一般的に、市が設置する建築物は、長期間の耐用年数を有します。」とあるが、これは今までの本市の公共施設建築に関する話であって、近年は考え方も変わってきているので、表記の方法を工夫した方が良いのではないか。	これまでの本市の建築物の考え方を表すため、文章を「市がこれまで設置してきた建築物は、長期間の耐用年数を有するものがほとんどでした。」に修正した。
17	○		63	第6章1 (3)ライフサイクルコスト を意識	この部分において、解体費用に関する記載が無いため、解体費用についても意識する旨を明記すべき。	解体費用に関する記載を追記した。
18	○		-	第6章4 更新費用の 平準化	「図6-1 更新費用の前倒しイメージ」を見ると、更新に至っていない施設についても前倒しを行うように見えてしまう。 使用可能な施設までも前倒す必要は無いと思うので、その点を文言にて記載できないか。	第6章は「公共施設の維持・更新費用の縮減及び収入の創出」であるが、該当部分は費用の平準化について記載したものであり、第6章で示したい内容では無いため、削除した。
19		○	66	第6章 5 縮減目 標等	— (事務局提案による修正)	縮減目標等について、前回までは目標設定に至る積算根拠まで細かく記載をしていたが、ここでは「設定の期間」・「縮減目標」のみを記載することとし、細かな積算や各期間の目標値は文章ではなく、図式化した。
20		○	69～80	第7・8章	— (事務局提案による追記)	「記載イメージ」に止めていた第7章及び第8章全般について、具体的に記載した。 また、これからの学校をどのようにしていくかについて、前回のイメージには記載の無かった具体的な取り組み内容を追記した。
21	○		69	第7章 計画期間中 に実施する 具体的な取 組み	ここでは「リーディングプロジェクト」という文言を用いているが、その文言と記載の内容が合っていないと思うので、標題を修正すべきではないか。	「リーディングプロジェクト」を「計画期間中に実施する具体的な取り組み」に修正した。
22	○		76	第8章 図8-1再編 実行に向け た手順のイ メージ	イメージ図中「調整困難」との文言だけでは分かりづらいので、表現を工夫して欲しい。	「調整困難となった場合」という表現に修正した。
23	○		73	第8章2 図8-2FM 戦略プラン 全期間中の 進捗管理の イメージ	プラン策定前に既に実行に移している再編・更新事業もあるため、PDCAサイクルの図は必要ないのでは。記載するのであっても、既に実施している事業ははっきり記載しておくべきではないか。	プランに位置付けが無い取り組みについても、実施可能な取り組みについては進めていく旨を第7章の末尾に追記した。

	市議会 意見	事務局 提案	資料 2-2 該当頁	対象部分	意見概要	対応方針(案)
24	○		-	施設の利用 状況につい て	各施設の利用状況、特に延べ利用 人数ではなく、実利用人数を検討 委員会の委員に示すべきではない か。	調べた上で、各検討委員にお示し する。
25	○		-	近隣自治体 の公共施設 について	市境の住民は近隣他自治体の公 共施設を活用している例もあると思 うので、把握しておくべきではない か。	情報収集の上、前回作成した施設 配置図に追記する。